

—まとめ—

平成から新しい時代へ

・ 儀式をめぐる

国事行為にするのか／公的な行為にするのか／私的な行為とするのか

・ これからの天皇制のあり方

公務のあり方は？

皇位の継承のあり方は？  
女性宮家／女性天皇など

マスメディアの報道と私たち

**参考文献**

- ・ 吉田裕・瀬畑源・河西秀哉編『平成の天皇制とは何か』（岩波書店、2017年）

## 1989年8月15日 戦没者追悼式「おことば」

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に際し、ここに、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、尊い命を失った数多くの人々やその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

顧みれば、終戦以来すでに44年、国民のたゆみない努力によって築きあげられた今日の平和と繁栄の中にあつて、苦難にみちた往時をしのぶとき、感慨は誠につきるところを知りません。

ここに、全国民とともに、我が国の一層の発展と世界の平和を祈り、戦陣に散り、戦禍にたおれた人々に対し、心から追悼の意を表します。

## 1995年8月15日 戦没者追悼式「おことば」

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、尊い命を失った数多くの人々やその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来すでに50年、国民のたゆみない努力によって、今日の平和と繁栄が築き上げられましたが、苦難に満ちた往時を思い、感慨は誠に尽きるところを知りません。

ここに歴史を顧み、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願ひ、全国民とともに、戦陣に散り、戦禍にたおれた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の発展を祈ります。

## 2015年8月15日 戦没者追悼式「おことば」

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来既に70年、戦争による荒廃からの復興、発展に向け払われた国民のたゆみない努力と、平和の存続を切望する国民の意識に支えられ、我が国は今日の平和と繁栄を築いてきました。戦後という、この長い期間における国民の尊い歩みに思いを致すとき、感慨は誠に尽きることがありません。

ここに過去を顧み、さきの大戦に対する深い反省と共に、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願ひ、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心からなる追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

## 2018年8月15日 戦没者追悼式「おことば」

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来既に73年、国民のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられましたが、苦難に満ちた往時をしのぶとき、感慨は今なお尽きることがありません。

戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、ここに過去を顧み、深い反省とともに、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願ひ、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。